

第3回救急医療搬送体制等のあり方に関する検討会

令和8年9月17日

資料4



茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航について

目次

- 1 茨城県ドクターヘリの運航体制について**
- 2 茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航について

茨城県ドクターヘリの運航体制

運航開始

平成22年7月

運航会社

エアロトヨタ株式会社

基地病院

- ・水戸医療センター 日・月・火・水（奇数年度）
・水戸済生会総合病院 水（偶数年度）・木・金・土

※原則、8時30分から17時30分

(ただし、日没時刻等により運航時間は変動)

※操縦士1名、整備士1名、医師1～2名、看護師1名

他県との広域連携

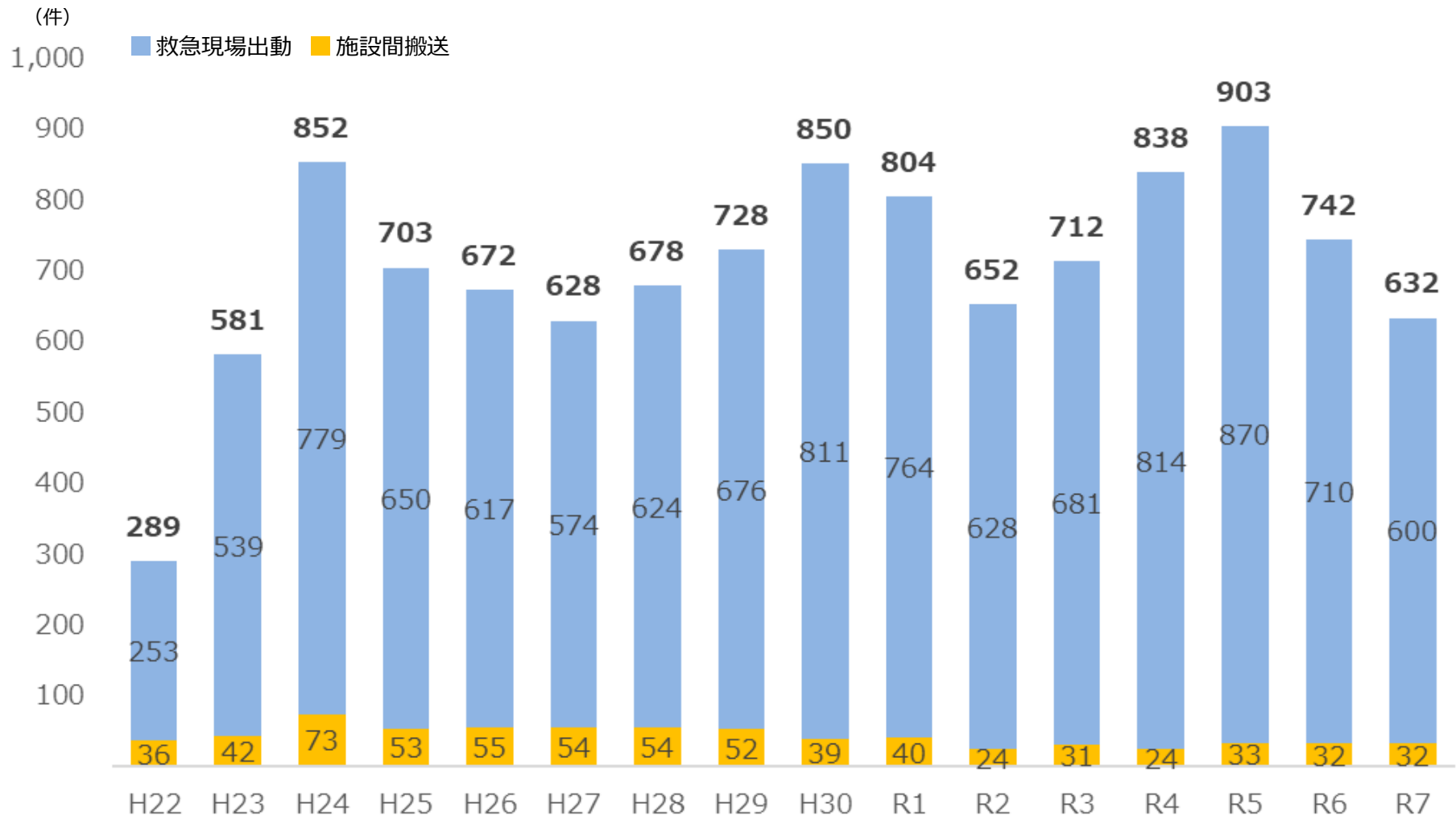
- ・千葉県北総へリ（共同利用）
- ・北関東3県（本県との相互出動は栃木県のみ）
- ・福島県へリ

- 出勤対象地域（茨城県から）
- 出勤対象地域（栃木県から）
- 出勤対象地域（千葉県から）
- 出勤対象地域（福島県から）



茨城県ドクターヘリの運航実績

茨城県ドクターヘリの出動件数は年間600件～900件で推移しており、運航開始から16年間で累計11,264件となっている。



目次

- 1 茨城県ドクターヘリの運航体制について
- 2 茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航について

茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航の体制

補完的運航開始

令和元年 7 月

運航主体

茨城県防災航空室

(運航管理等はつくば航空株式会社へ委託)

駐機場所

つくばヘリポート

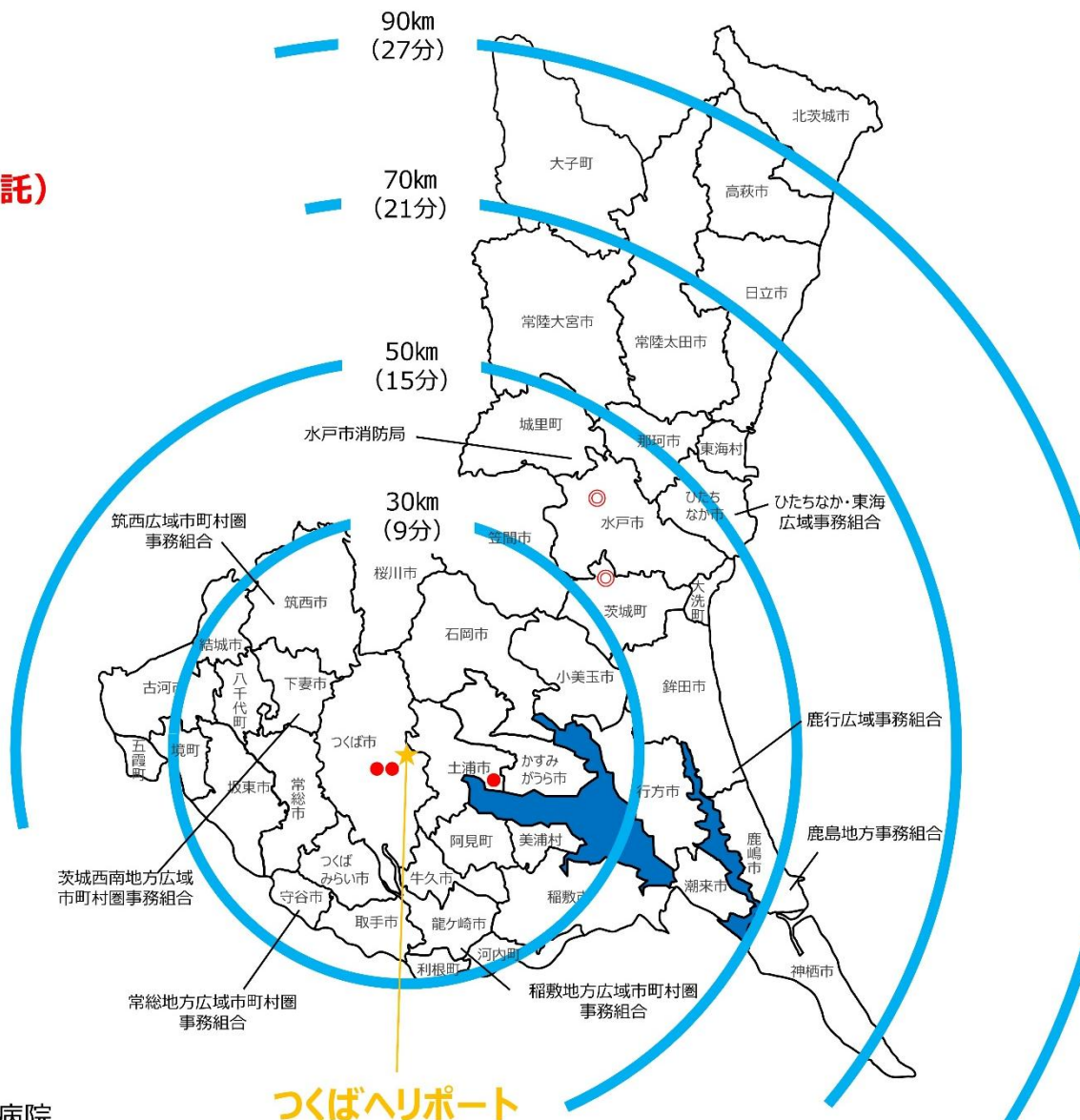
補完的運航担当病院

- ・筑波大学附属病院 月・金
- ・筑波メディカルセンター病院 火
- ・土浦協同病院 水・木

※原則、9時から17時15分

(ただし、日没時刻等により運航時間は変動)

※操縦士 1 名、補助操縦士 1 名、運航指揮者 1 名、
防災航空隊員 1 名、医師 1～2 名、看護師 1～2 名



○ドクターヘリ基地病院

●防災ヘリによる補完的運航担当病院

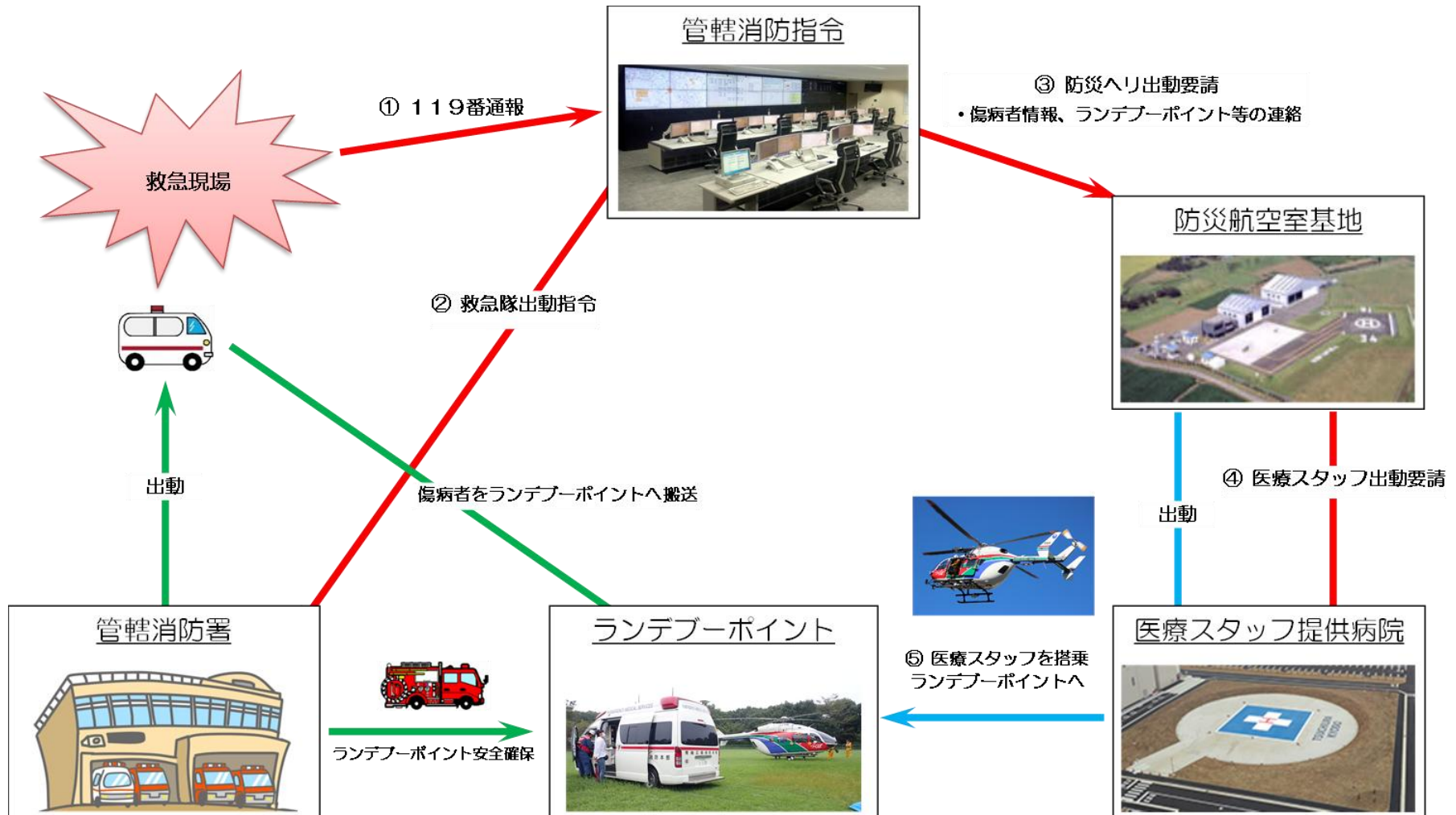
つくばヘリポート

茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航の運航フロー

要請後、防災航空室基地から担当病院（医療スタッフ提供病院）へ向かい、ヘリで医師・看護師をピックアップした上で現場へ向かう。

このため、基地病院から直接出動するドクターヘリに比べ、現場到着までに8分程時間を要する。

→ それでも、救急車搬送と比べると、早期の医療介入が可能。



茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航の制約

- 防災ヘリは機体を県が保有しており、予備機を確保していないことから、**年1回の耐空検査の際には約3か月間の運休が生じる。**
- 補完的運航の開始当時、防災ヘリは、機体メーカーが定める点検基準により、年間飛行時間300時間を超えると、通常の耐空検査（約3か月）とは別に、約1か月の検査が必要となるため、年間飛行時間の上限を300時間としていた。
このため、消防防災活動への影響を考慮し、**補完的運航は年間20時間程度（搬送件数30件程度）を目安**としていた。
→ 令和5年度に防災ヘリの機体を更新し、点検基準が年間飛行時間400時間となったため、現在は**年間80時間程度（搬送件数120件程度）の実施が可能**となっている。

<参考> 各年度の防災ヘリ運航不能日数

年度	日数	主な理由	年度	日数	主な理由
R1 (7/16~)	4日	点検のため	R5	73日	機体修繕のため
R2	120日	耐空検査のため	R6	99日	耐空検査のため
R3	105日	耐空検査のため	R7	121日	耐空検査のため
R4	99日	耐空検査のため			

※ 補完的運航を行っていない土日を含む。

※ 加えて、年間飛行時間の制限により、補完的運航は、R1に2か月、R3に3週間ほど運休している。

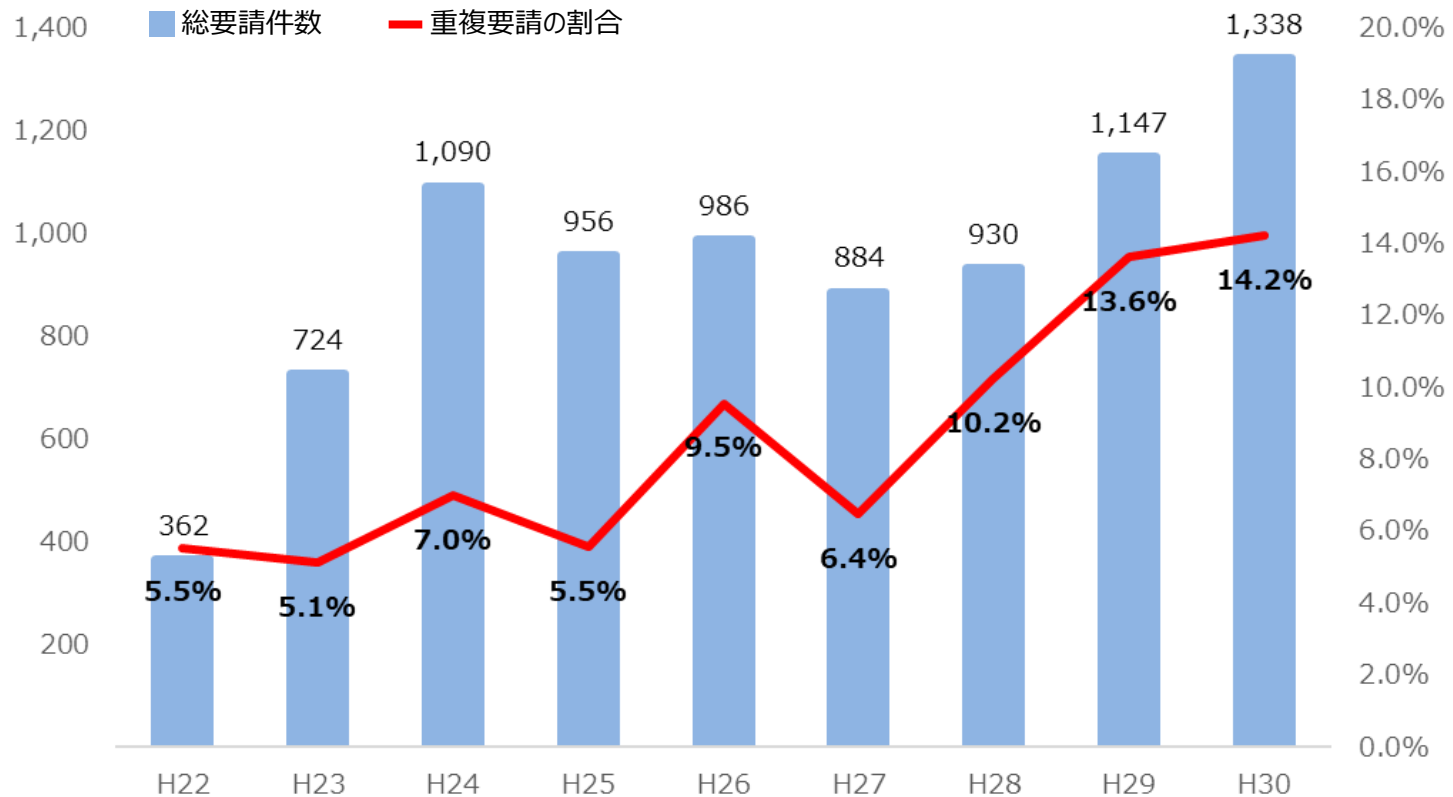
茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航の実績

- 防災ヘリ補完的運航の出動件数は年間15件～30件で推移しており、7年間で累計151件となっている。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
出動件数 (件)	32	14	17	18	28	24	18
救急現場出動	31	13	15	18	28	23	16
施設間搬送	1	1	2	0	0	1	2
運航時間 (h)	15:55	7:55	10:25	6:40	15:57	10:45	10:00

茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航開始の経緯

平成22年のドクターヘリ運航開始以降、要請件数の増加に伴い、重複要請によりドクターヘリが出動できなかった事案の割合も増加傾向にあった。



そこで、既に実施していた他県との広域連携によるカバーに加え、従来は転院搬送時に活用していた防災ヘリを、ドクターヘリが重複要請等により出動できない場合に、救急現場においても活用する補完的運航を開始することとした。

茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航開始までのプロセス

	H30										H31 (R1)						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
検討委員会					開催				開催		開催					運 航 開 始	
協定書	検討										締結						
運航要領・マニュアル	検討						訓練結果を踏まえ修正				完成			改正			
要請順位の調整					検討												
安全運航講習会	検討						3回開催										
ドクターヘリ搭乗訓練 (OJT)	検討						筑波大	土浦 協同	筑波 メディカル	筑波大	土浦 協同	筑波 メディカル	3病院共通実施				
防災ヘリ搭乗訓練	検討								ピックアップ 訓練	出動 訓練			出動 訓練				
運航管理業務研修 (防災航空室向け)								実施									
各消防本部等への 説明会													実施				
防災ヘリ定期点検 ※ヘリ使用不可	↔												↔				

運
航
開
始

茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航の安全運航に向けて

安全な運航を行うには、担当病院のフライトドクターやフライトナースの訓練が不可欠であるため、運航開始前には、防災ヘリでのシミュレーション訓練、本県ドクターヘリでのOJTや安全講習会などを複数回実施した。

→ 現在も、希望者を対象としたOJTを毎月実施しているほか、定期的に安全講習会を開催している。



まとめ

- 茨城県防災ヘリによるドクターヘリ補完的運航は、ドクターヘリの重複要請等により出動できない事案に対応するために開始され、他県との広域連携とともに、本県のドクターヘリ運航体制の充実に寄与している。
- 運航開始以来 7 年間で151件出動しているものの、令和 5 年度の機体更新でさらなる出動件数の増加も可能となっている。
- 一方、さらなる有効活用に向けては、医療スタッフのピックアップ等により現場到着（医療介入）までにドクターヘリよりも時間を要する点を踏まえ、これまでの運航実績を分析の上、より効果的な運航範囲や症例等を搬送機関と共有していく必要があると認識している。
- 今後も安全運航を確保しながら、ドクターヘリ、ドクターカー及び救急車による救急搬送体制全体を踏まえ、より効率的な運航ができるよう、要請順位の見直し等を検討し、救急医療体制の充実を図っていきたい。